

6. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連  (北陸)	良く なっている	観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比総売上123%、宿泊人数114%、宿泊単価106%であった。15名以上の団体客は前年とほぼ同じ101%で推移したが、個人客は133%と大幅増となり、客室稼働も95%を超える水準となっている。個人客が増加したことにより宿泊単価も上がっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・北陸新幹線開業効果で、宿泊を中心に売上が順調に伸びている。一方で、従来の地元客は増えているとは感じないことが気にかかる。
	やや良く なっている	コンビニ（店舗管理）	単価の動き	・プレミアム付商品券の恩恵を受け、客単価が前年を上回っている。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・6月の販売量は前年同月比101%である。3月の販売量は前年同月比76%だったので、3か月前と比較して上向きである。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	販売量の動き	・消費税増税から一回りした今春から、来客数、客単価の双方とも上昇し、結果として販売量が伸びている。特に、衣料、服装品、靴やかばんの伸びが顕著で、レジャー関連を中心に全体をけん引している。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・北陸新幹線開業後、募集型の団体旅行やインバウンドを中心に集客が良く、売上も前年比10～20%ほど増加している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・依然として北陸新幹線の影響で、当地の人出は多い。開業時のように爆発的ではないが、観光客を中心として夜の街も人出はある。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・光通信サービスを提供開始して1年が経過するが、提供エリアの拡大と共に新規契約の増加、解約の減少という相乗効果となって表れており、純増件数は過去1年で最高水準となっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・通常の機種変更に加え、家族へのプラス1台、自分へのタブレットプラス1台などが増えてきている。購入時のイニシャルコストは懸念されるが、ランニングコストについては利用価値があるなら仕方ないと理解してくれる客が増えているように思う。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・北陸新幹線の金沢開業以来、東日本エリアからの客が増加し、個人客やグループ客の利用が増加している。一方で、バス運賃の改定に伴う料金の値上げにより関西圏や中京圏からの団体客の人数が減少傾向にあり、全体としてはやや良いという状況にある。
		美容室（経営者）	単価の動き	・2万円、3万円する美容商品を買めると購入する客が多くいた。今月は10台以上売れている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・新築の客数は減っているが、リフォーム客が増えている。しかも、2～3か月前までは数百万円台がよいところだったが、現在は1千万円以上の客が増えており、契約数も契約金額も増えている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・徐々に注文住宅用地が動き、住宅工事の着工戸数が増えていると感じる。
		変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子
商店街（代表者）	販売量の動き		・当商店街の店舗は物販が主であるが、6月の売上が若干悪くなった。考えられる理由は、7月に大型商業施設が複数開店することと、バーゲンセール前であることによる消費者の買い控えがある。また、北陸新幹線開業で他県に買物に行きやすくなったことなどにより、消費者が県外で買物していることも影響していると考えている。なお当地区や近辺の飲食関係の店は、観光客などの増加により、売上が増加している。	
一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き		・客の消費意欲が上がっておらず、来客数も客単価も上がっていない。	
百貨店（営業担当）	お客様の様子		・今の時期はお中元が始まったという時期であるが、特徴的なこととして、贈り先の件数は変わらないが、5～10%程度単価が減少している。配る件数は変えないが、少し内容を見直して全体的な予算を抑えているというのが特徴的な点である。	
スーパー（店長）	単価の動き		・客の買上単価は、先月より若干良くなっているが、食品、菓子、雑貨での販売量が増えているからであり、生鮮品についてはシビアな買物をしている。	

スーパー（総務担当）	販売量の動き	・食品の値上げが続く影響もあり、1品単価は昨年より微増である流れは変わっていない。買上点数も微増であることから、売上は昨年を上回る状況が続いている。儉約傾向は感じられず、高価な品と安価な品をうまく買い回りにしていると感じる。
スーパー（統括）	単価の動き	・3か月前もそうであるが、単価の動きは依然として高く推移している。1品単価も客の買上点数もどちらも上昇している中で、実際は3か月前と変わっていないのだが、良い傾向になってきていると思う。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・競合店の出店から1年以上たち、来客数はほぼ前年並みに戻っている。しかし、値上げなどがあって、本来は客単価が上昇しなければならないはずであるが、単価は下落傾向が続いている。
コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣に業界3大チェーンがそろい踏みして以来、来客数の前年比は、当初は落ち込み、その後多少回復し、ここ2～3か月はずっと同じで推移している。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・ここ数か月横ばいが続いている。季節柄、もう少し売上が増えてくれればと思う。5月の方が6月よりも良い結果であり、そのこと自体は例年通りなのだが、今年はより顕著に6月の方が売上が少なかった。気になるのが、例年6月後半は7月並みに良い売上で推移することが多いのだが、今年は良くなかったことである。ただ、5月がたまたま良かったのか、6月が特別悪かったのか、判断が微妙なので変わらないと回答した。とはいえ、前年比で比べた場合悪化しているのであまり景気が良いとは判断しがたい。
衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・地方の衣料品専門店では、売上が好調というところは聞かない。都市部の百貨店はいざしらず、当地では大型ショッピングセンターの開業もあり、上向きになっていくとは考えられない。
乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・北陸新幹線効果で街全体としては活況を呈しているが、業界としては前年の消費税増税後の水準とあまり変わっていない状況である。新型車効果にかなり左右されるので、各販社ごとでは若干の違いはあると思う。
自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・昨年の6月は消費税増税の反動も和らいでいたため、4～5月と比較すると今月は前年からの落ち幅が大きくなっており、今期3か月間の客の動向に変化は感じられない。新商品発売時期でもあるが、年々予約状況も減っている。
その他専門店【酒】（経営者）	販売量の動き	・当地では今月から消費拡大キャンペーンが始まり、客がプレミアム付商品券を買うのに2時間並んだという話を聞いている。もしかしたらこれから少しずつでも消費が拡大し、景気が少しでも良くなるのではないかと期待はあるが、それほど簡単に景気が良くなるとは思えない。
その他小売【ショッピングセンター】	単価の動き	・店頭の動きは、買上客数と買上頻度は前年割れているが、買上単価は前年比で伸長を続けている。特に一般食料品価格の値上げと、野菜収穫時期と九州エリアの長雨が重なった影響で、野菜相場が高い。
高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・北陸新幹線開業後は安定した集客が継続している。地元法人の接待利用も活発だが、観光客の利用は平均単価より130%ほど高い利用が目立つ。
一般レストラン（統括）	来客数の動き	・外食関係では北陸新幹線開業による効果は6月中旬頃からやや落ち着き始めた。しかしプレミアム付商品券の効果がじわりじわりと出てきており、全体で見ると良い状況で変わらない状況が続いている。
都市型ホテル（役員）	販売量の動き	・宿泊部門は北陸新幹線開業以降、ビジネス客及びインバウンドの増加により順調に推移している。レストラン部門の個人利用及び宴会部門の法人利用に関しては足踏みの状況にある。
旅行代理店（所長）	販売量の動き	・北陸新幹線開業の影響で、夏休みや9月の大型連休の計画も含め、早めの問い合わせが多くなっている。
タクシー運転手	販売量の動き	・全体的に忙しくなかった。夜の方は相変わらず静かである。
通信会社（店舗統括）	来客数の動き	・新商品が発売されてもそれほど来客数が伸びていない。
その他レジャー施設（職員）	来客数の動き	・新規会員獲得が前年と同じような状態で推移しており、会員数が伸びない。
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・展示場来場者数は順調な推移を見せており、予定していた入手情報は確保できている。

	住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・大規模な住宅展が開催され、新規客及び潜在的に建築を希望する客が多く来場し、動き出している感がある。しかし、競合は激しくなっている。	
やや悪くなっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・セール前のプレセールを行ったが、例年より来客数が減少したようだ。様子見をしているという状況である。アウトレットモール開店への期待感から、そのような行動となっているのかもしれない。	
	一般小売店[精肉](店長)	来客数の動き	・ギフトの販売状況が今一つ悪い状態である。全体的にギフトがあまり出ていないような感じである。	
	一般小売店[事務用品](店員)	販売量の動き	・需要期が過ぎ、また北陸新幹線特需も落ち着き始めたため、来客数や商談件数が鈍化してきた。	
	百貨店(売場主任)	お客様の様子	・クリアランスセールが昨年は6月下旬にスタートであったが、今年は7月1日スタートとなり、6月後半戦においては買い控えムードが見られ、売上が低迷している。6月全体業績においても、前年実績は上回るが前々年実績には届かない。	
	百貨店(営業担当)	お客様の様子	・6月に入ってから、セール待ちの声が多くなった。梅雨の時期に入り、暑かったり寒かったりする日が続いたため、夏物が去年より動きが悪かった。月末に優待セールを実施したが、定価品を割引したものより、セール投入したものの売行きが良い傾向だった。	
	スーパー(総務担当)	単価の動き	・これまで客単価が伸びていたため売上も伸びていたが、客単価が前年並みになりつつあるため売上が減少してきている。	
	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・景気が良くなっているという感じは全くない。新聞などの報道が信じられない。株で儲かっている人は、お金を使っていないのだろうか。給料が多少は上がった人は、お金を使っていないのだろうか。儲かっている企業は、お金を使っていないのだろうか。数字のどこかに、間違いがあるのではないか。当地の商店街は、全く首無しの構えである。	
	家電量販店(店長)	販売量の動き	・省エネの高単価商品の売行きは良いが、販売数量が落ち込んでいる。先月の暑さでエアコンなどの季節商材が前倒して売れた感じである。	
	乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・商談では結論が出るまでに日数が長くなり、結果として乗り換ええない場合が多い。購入に慎重な様子が多く見受けられる。	
	住関連専門店(店員)	販売量の動き	・消費税増税のあった昨年よりも数量が落ちた。	
	スナック(経営者)	来客数の動き	・6月は20日過ぎまでは良くなかったが、後半に団体客が入りなんとかいった状態だが、昨年同月と比較すると10%悪い状態である。酒屋の話では平日は全くだめとのことで、納得といった感じである。	
	通信会社(役員)	販売量の動き	・3か月前は例年通り商戦期であったため、それと比較すると放送サービス、通信サービスともに獲得契約数が若干減少した。	
		パチンコ店(店員)	来客数の動き	・客の滞在遊技時間が減少した。
悪くなっている	乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・週末のイベント時も来客数が減っており、新車、中古車ともに、なかなか売上に結びつかない。	
企業動向関連 (北陸)	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	金融業(融資担当)	取引先の様子	・事業性融資の伸びはまずまずである。設備投資案件もそこそこ需要がある。
		不動産業(経営者)	受注量や販売量の動き	・同業者に聞くとこころでは、半数程度で動きが出てきているということと、個人客からの問い合わせが多くなっている。
	税理士(所長)	取引先の様子	・北陸新幹線開業の効果が、当地では金沢ほどではないが出てきている。いろいろな面で観光、商業関係は前年よりも売上は良くなっている感じがある。また、医薬品関係の設備投資も堅調に推移しており、客でも建設業者あるいは設備業者の仕事は、結構予定が詰まっているという感じである。	
変わらない	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・足元の受注には力がなく、前年同期比で横ばいしないしは若干のマイナスになっている。	
	繊維工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・繊維関係では、衣料よりは非衣料関係がまだ安定している。ただ、原料のコストが非常に高くなっている。	

	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・北米の受注が伸びていない。
	精密機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・比較的好調に戻っている取引先と、厳しい状況から脱し切れない取引先が鮮明になってきている。全体的には3か月前に比べ若干良くなっている感はあるが、そう大きくは変わらない状況である。
	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・工事発注量が地域により減少する傾向も見受けられ、一部で厳しい受注価格競争が起きている。
	金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・北陸新幹線効果も一服した。工事の発注も限定的のことである。最近、人員確保が難しく事業の縮小の話も聞く。
	司法書士	取引先の様子	・会社設立の依頼が増えているが、廃業するもしくは廃業はしないものの法人を解散し、個人営業にするという案件も多い。
	やや悪くなっている	食料品製造業（役員）	それ以外
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き
		輸送業（配車担当）	取引先の様子
	悪くなっている	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-
(北陸)	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（役員）	求人数の動き
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子
		職業安定所（職員）	求人数の動き
	変わらない	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き
		人材派遣会社（社員）	それ以外
		職業安定所（職員）	求職者数の動き
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き
		学校〔大学〕（就職担当）	それ以外
	やや悪くなっている	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き
		職業安定所（職員）	求人数の動き
	悪くなっている	-	-